

# まつばら再発見！第2回「松原市観光写真コンクール」 入賞作品決定

松原市の観光の魅力をPRし、また地域の魅力を再発見してもらうことを目的に作品を募集しました第2回「松原市観光写真コンクール」について、審査の結果、下記のとおり入賞作品が決まりましたので発表します。今回は38人の皆さんから121点の応募がありました。

問合せ 産業振興課



## 【市長賞】「練習を終えて」 小野高秀さん（大阪市）

### ●写真選評

作者は、松原市にある新しい施設、風の広場（今池水みらいセンター）を撮影場所に選んでおられます。水色の空に浮かぶ薄雲、鮮やかな緑と白い花、二つに分断された縦位置の構図がよい。

中央部を横切る小径には練習を終えたばかりの子ども達が群がって歩いてゆきます。彼らの後ろ姿は、今日も一日楽しかったようで今にも話し声が聞こえて来そうです。

ほどよい日差しのもとで撮られていて明るく清々しい作品になりました。

亀村 俊二(写真家)

## 【議長賞】「湯立神事」 小山賢次郎さん（岡）



## 【審査員賞】「伝統工芸士の作業場」 森下和彦さん（東新町）



## 【金賞】「大和川とカモメ」 河野信行さん(八尾市)

「夏まつり」 宮崎行雄さん(天美東)

## 【銀賞】「来迎寺 第二十七世晋山式 お練り」 伊藤元久さん(丹南)・「古代追想」 永柳雅英さん(大阪市)

「初秋 河合神社」 恒吉利幸さん(河合)・「つな渡り」 東敬朗さん(大阪市)

「隠れ家から外を覗う」 北川育子さん(天美南)

### ●審査にあたって

第2回を迎え昨年より多くの応募があったことをよこでおります。

作品は風景、史跡、行事、まつり、工芸、家族や子どもの写真などいろいろな角度から松原市を切り取ったものがそろいました。

ほぼ平均点に達していましたが入賞か否かについてはほんのわずかなところでありました。

ただ、どの作品も暖かな目で松原市を見ておられることがよく伝わってきます。

これからもいつもカメラを持って見て歩き、最先端に行く松原市や文化、伝統、歴史が感じ取られる松原市、その魅力を見いだしてしていただくことを望みます。

亀村 俊二(写真家)